



教育ながの

本年度もよろしくお願
い
します!!!

★今月号のラインナップ

1. [ひろば](#)

「家庭学習について考える」

教育長 伊藤学司

2. [特集](#)

「平成 26 年度長野県教育委員会基本方針を紹介します」

教育総務課

3. [ご存知ですか](#)

○「いじめ防止等のための基本的な方針」について

心の支援室

○信州教育の信頼回復に向けた取組を着実に進めています

教育総務課

4. [今、学校では](#)

○全国高校駅伝入賞を目指して

長野東高校陸上部

5. [イベント情報・お知らせ](#)

6. [あしがき](#)

家庭学習について考える

教育長 伊藤 学司

416 時間—これは小学6年生が1年間に学校で受ける国語、社会、算数、理科の4教科の授業時間の合計です。これに対し、537 時間—これはちょっと古いデータですが2004年の民間研究所の調査で小学生が平日にテレビ・DVDを見る時間とテレビゲームをする時間を学校の課業日（175日）に限って合計したものです。

すなわち、子どもたちは課業日であっても、4教科の授業よりも家庭でテレビ等を見て過ごす時間が長いわけです。これに土日や長期休業期間を加えると、その差は歴然としたものになります。

授業で学んだ内容を確実に定着させるためには、いい授業を行うことは当然ですが、それに加え質の高い家庭での振り返り学習が不可欠です。同時に、児童生徒にとって実りある授業にするためには、事前の学習準備も極めて重要です。最近話題の「反転授業」は、まさに事前の予習でどこが分からないかを知った上で授業に臨み、授業での学びを深めるという効果に注目が集まっているものです。

翻って本県の家庭学習の状況を見るに、白文帳に自由に児童生徒が学習した証を残すだけで、授業内容と密接に関連した計画的意図的な学習になっていないという指摘や、予習については、これを重視しないばかりか、むしろ新鮮な気持ちで授業を受ける妨げになるという「悪者視」する見方までであると聞きます。

秋田県や福井県では、家庭での学習を重視し、授業と家庭学習との両輪で、児童生徒にしっかりと力を養うために、教育委員会や学校が積極的に取り組んでいます。

本県でも、今年度より、授業と連動した効果的な家庭学習の構築に向け、新たなモデル事業を展開することにしています。これまでの常識にとらわれることなく、学校が頑張ることは当然ですが、家庭も学校任せにするのではなく、学校と家庭が力を合わせ、子どもたちにしっかりと力をつける信州モデルの構築を進めていきたいと思えます。



平成 26 年度長野県教育委員会基本方針を紹介します 教育総務課

「教育委員会基本方針」って何でしょうか。今回は、今年度の教育委員会基本方針について、分かりやすく説明します。

Q そもそも基本方針って何だろう？

A 長野県は、昨年 3 月に「第 2 次長野県教育振興基本計画」を策定しました。教育委員会基本方針は、この計画に基づき、毎年度、長野県教育委員会がどのような施策に力を入れて取り組むのかをまとめた方針です。

Q 26 年度は主にどのようなことに力を入れて取り組むの？

A 今年は三本柱として、3 つの重点施策を打ち出しました。
「学力の向上」と「すべての子どもの学びの保障」、「体力向上とスポーツの振興」の 3 つです。

Q どれも重要な課題だけど、例えば「学力の向上」では、具体的にはどんなことをするんだろう？

A 学力といえば、毎年「全国学力・学習状況調査」が話題になります。25 年度の長野県の結果を見ると、中学校では全国平均を下回った項目が多く、特に数学では、全国平均との開きがありました。

このため今年度は、児童生徒の習得状況を確認し着実に力をつけるシステム作りや、授業と関連した新たな家庭学習モデル作りなどにより、学力の向上に取り組むこととしています。

Q 2 番目の「すべての子どもの学びの保障」は何をするの？

A いじめの未然防止や早期発見・早期解消を図るため「いじめ防止等のための基本的な方針」に沿って、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置や関係機関と協議会を設置して、連携を深めながら取り組んでいきます。

特別支援教育については、特別支援学校の自立活動担当教員を 20 人増員（今後 4 年間で 80 人）するほか通級指導教室を増設するなど、適切な指導・支援を保障できる体制の構築に向け取り組みます。

経済的な理由で進学が困難な生徒を支援するため、県内大学進学者向けの奨学金制度の創設などを行うこととしています。

Q 3 本目の柱となる「体力向上とスポーツの振興」は？

A 長野県の児童生徒の体力・運動能力を全国平均と比較すると、特に中学生女子が低い水準にあります。また、運動する児童生徒としない児童生徒の二極化も進んでいます。

このため、体力・運動能力の向上や運動好きな子どもを増やす取組として、幼児期を対象とした運動プログラムの開発や、「中学生期のスポーツ活動指針」に基づき中学校等で行われるス

ポーツ活動が適切で効果的な活動となるように、指導・助言等を行っていきます。

Q いろいろなことに取り組むようだけど、それで長野県の教育がよくなるのかな？

A それぞれの取組には成果目標を設定し、具体的な数値で達成状況を把握するなど、成果をしっかり検証していくこととしています。検証の結果、必要に応じて今後の施策や事業を見直すこともあります。

今年、第2次長野県教育振興基本計画の2年目を迎えます。計画に掲げる「一人ひとりの学びが生きる教育立県“信州”の創造」に向け、取組をさらに加速させていくこととしています。

平成26年度長野県教育委員会基本方針の全文は、下記のURLからご覧いただけます。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/kyoiku/shinchaku/kako/h26hoshin.html>

[目次に
戻る](#)

◆お問い合わせ◆

教育総務課企画係

TEL 026-235-7423

FAX 026-235-7487

E-mail kyoiku@pref.nagano.lg.jp

「いじめ防止等のための基本的な方針」について

心の支援室

いじめはどの子どもにも、どの集団においても起こりうるものであり、だれもが被害者にも加害者にもなる可能性があります。また、いじめを受けた子どものみならず、いじめを行った子ども、観衆としてそれをはやし立てたり、傍観者としてこれを見て見ぬふりをしたりした子どもを含むすべての子どもの心身の健全な発達の大きな妨げとなります。

いじめによって子どもが辛く悲しい思いをすることがないようにするためには、子どもを取り囲むすべての大人が「いじめは絶対に許さない」という意識をもち、役割と責任を自覚し、いじめ問題に取り組むことが大切です。

学校では、教職員が一人で抱え込まずに、学校の教職員全員が一丸となって組織的な対応をすることが必要です。また、保護者、地域の皆さん、関係機関と連携して取り組むことも欠かせません。

長野県では、これまでも、学校の対応力の向上や相談体制の充実等、様々ないじめ防止の対策に取り組んでまいりました。また、「“いじめを見逃さない長野県”を目指す共同メッセージ」を発出するなど、県民総ぐるみでいじめ問題に取り組む決意をしました。

このたび、これまでのいじめ対策への取組を生かし、「長野県いじめ防止等のための基本的な方針」を策定しました。

この方針では、いじめの未然防止、早期発見、適切な対応を柱とし、児童生徒が安心して学習やその他の活動に取り組めるよう、学校や教育委員会の取組に加え、家庭や地域の理解と協力、関係機関との連携により、県民総ぐるみでいじめ防止等に取り組むという、基本的な方向を示しています。

詳しくはこちら↓

<http://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/kyogaku/shido/ijime/shienshitsu.html>

この方針をもとに、すべての児童生徒が毎日安心して学習やその他の活動ができるよう、学校や家庭、地域その他の関係者が連携し、学校や地域の実情に応じた具体的かつ実効のないじめ問題への取組を計画・立案、展開されることを期待します。

[目次に
戻る](#)

◆お問い合わせ◆

心の支援室

Tel 026-235-7436

Fax 026-235-7495

E-mail kokoro@pref.nagano.lg.jp

信州教育の信頼回復に向けた取組を着実に進めています

教育総務課

教職員による不祥事の根絶を目指して、昨年7月に策定した「信州教育の信頼回復に向けた行動計画」に基づき、県教育委員会では現在、市町村教育委員会や教職員の皆さんの協力を得ながら様々な取組を進めています。

昨年中に全46項目に着手し、3月末現在で22項目を実施しました。さらに、新年度のスタートに合わせ、今月から、6項目を順次実施します。県教育委員会に「コンプライアンス委員会」を組織し、非違行為防止のための体制を整備するとともに、市町村教育委員会の取組を支援していきます。また、特に重大な非違行為の解決等に関する助言を受けるため、弁護士等の有識者を「コンプライアンスアドバイザー」に委嘱するほか、学校現場等における非違行為の発生を抑制するため、非違行為を発見した教職員が見て見ぬふりをするのではなく、安心して通報・相談できる専用の窓口を新設します。

一日も早く県民の皆様の教育に対する信頼を回復するため、今後とも皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

◆信州教育の信頼回復に向けた取組についてはこちら

<http://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/kyoiku/torikumi.html>

目次に
戻る

◆お問い合わせ◆

教育総務課

Tel 026-235-7421

Fax 026-235-7487

E-mail kyoiku@pref.nagano.lg.jp

全国高校駅伝入賞を目指して

長野東高校陸上部（顧問 玉城良二）

長野東高校陸上部は全国高校駅伝に平成 19 年に初出場以来、昨年度まで 7 年連続出場をさせていただいています。平成 23 年に県最高順位の 8 位入賞をはたしました。今年は部員も 18 名となり、「都大路上位入賞」を目標に日々の生活、練習に取り組んでいます。

生活力が競技力となる

長野東高校陸上部女子長距離部員 18 名の 1 日は、朝の 5 時 30 分の朝練習集合から始まります。起床時間や体操、ウォーミングアップは各自で行い、集合時間になると全員が整列をして、挨拶のあとに各自 30 分間の練習を行います。朝練習の狙いは、競技力の向上もありますが、一番大切にしているのは「生活習慣をつくる」ことです。誰でも、早起きや決まった時間に起きることは楽ではありません。

まして高校生にとっては最も辛いことかもしれませんが、自分で起床時間を決め、毎日続けるということにより習慣となります。朝は 1 日の生活習慣のスタートだからこそ大切だと思います。1 日 24 時間のすべての人に平等に与えられた時間の使い方。これが生活力であり、競技力に通じると思います。



目標や反省のミーティングを練習前後に生徒のみで行います

自主性は自分できめたことを継続して実行することから育まれる

クラブ活動の基本的な約束事のほかに、人間的成長とチーム力の向上のために、チームとして取り組むことや個人で決めて毎日実行するようにしています。このように、指示や指導によってやられるのではなく、「自分で決めて、継続して実行」ということが、自主性を育み、高校生としての人間性の向上につながるのだと思います。今年は、生徒が練習の前後に「5 分間のコース整備」をすることをチームとして決めて実施しています。生徒が「コース整備をして強くなった」と胸を張って言えるように成長してほしいと願っています。



生徒が決めて実施する、練習前後 5 分間のコース整備

感謝の気持ちを忘れずに生活、練習

部員の 15 名が共同生活をしています。仲間や保護者、生活を支えていただいている方々はもちろん、練習の拠点となる犀川河川敷は、散歩やランニングをしている地域の多くの方々が、応援や支援をしてくださいます。毎日の生活や練習が「あたりまえにできる」のではなく、多くの方々のお陰様という感謝の気持ちを忘れてはなりません。

公立学校としての誇りをもって

公立学校として与えられた環境に感謝し、学校や県民の代表であるということを忘れてはいけません。私学隆盛が高校スポーツ界の現状ですが、公立高校だからこそという思いと誇りをもって全国に挑戦してほしいと思います。



全国高校駅伝入賞を目指す選手たち

[目次に
戻る](#)

◆お問い合わせ◆

長野東高等学校

TEL: 026-221-8111 FAX: 026-251-1789

E-mail: nghihs@nagano-c.ed.jp

イベント情報・お知らせ

～科学の研究・発明に取り組まれている皆さんへ～

★平成 26 年度科学研究費助成のご案内★

(一財)長野県科学振興会では、科学研究を奨励するため、自然科学を研究する個人及び団体に対して、研究費の助成を行っています。

募集内容については、(一財)長野県科学振興会ホームページ (<http://w2.avis.ne.jp/~nkagaku/>) の「平成 25 年度科学研究費助成金の募集について」をご覧ください。

- ◇申請期間 平成 26 年 5 月 12 日 (月) 消印有効
- ◇交付対象 県内で科学研究 (自然科学に限る) をしている個人又は団体。
- ◇助成金額 30 万円以内
- ◇申請方法 ホームページに掲載している申請書等に必要事項を記入し、最寄りの支部または事務局へ提出してください。

※ 交付部門や採択基準など、詳しくは事務局へお問い合わせください。

◆お問い合わせ◆

一般財団法人長野県科学振興会事務局
(長野県教育委員会事務局
文化財・生涯学習課 生涯学習係)
電話 026-235-7437 FAX 026-235-7493
E-mail nkagaku@mx2.avis.ne.jp

[目次に
戻る](#)

放送大学『学校図書館司書教諭講習』受講生募集について

放送大学はテレビとラジオで学習する通信制大学です。

現職教員のみなさまが、日々の教務と両立させながら受講できます。

なお、全科目についてインターネット配信での視聴が可能となりました。

放送大学では、学校図書館司書教諭の資格を取得できる『学校図書館司書教諭講習』の受講生を募集します。

◇ 講習（放送授業）日時

平成26年7月22日(火)～8月5日(火)

〈再放送：7月23日(水)～8月6日(水)〉

◇ 出願票提出期間

平成26年5月1日(木)～5月31日(土)

◇ 募集要項資料請求先

放送大学長野学習センター

〒392-0004 諏訪市諏訪1丁目6番1号
スワプラザビル4階

電話 0266-58-2332 FAX 0266-57-1135

放送大学ホームページ <http://www.ouj.ac.jp>

～放送大学で学んでみませんか！～

★平成26年10月入学生募集★

放送大学では、平成26年度第2学期（10月入学）の学生を募集しています。

放送大学は、テレビなどの放送を利用して学習する通信制の大学です。

放送大学の科目を利用して、上位や他教科等の教員免許状の取得、教員免許更新講習の受講等が可能です。また、教育における最新情報や専門分野等のリカレント教育に資する科目も数多く開設しています。

詳しい資料をお送りいたします。お気軽にお問い合わせください。

◇ 募集期間

平成26年6月15日（日）～平成26年8月31日（日）

〈今回から、インターネット出願、郵送出願とも同日受付開始〉

◇ 授業開始

平成26年10月1日（火）

◇ 資料の請求（無料）・お問い合わせ先

放送大学長野学習センター

〒392-0004 諏訪市諏訪1丁目6番1号
スワプラザビル4階

電話 0266-58-2332 FAX 0266-57-1135

放送大学ホームページ <http://www.ouj.ac.jp>

★研修講座のご案内★

長野県生涯学習推進センター

5月から6月までに開催する研修講座のご案内をいたします。詳細については、当センターのHPをご覧ください。皆様の参加をお待ちしております。

タイトル	日時	実習・講座	講師
◆天体観測講座 「春のスターウォッチング～月のクレーターや土星の輪を見よう～」	5月12日(月)～14日(水)のうちの条件のよい日1日 時間 19:00～20:30	実習:50cm大望遠鏡・8cm天体望遠鏡による土星、木星、火星、月等の観測	講師 総合教育センター教科教育部専門主事 天体観測サポーター
◆生涯学習推進者実践講座【5回継続講座】	①5月29日(木) ※第2回目以降は ②6月16日(月) ③7月 ④9月 ⑤12月 時間 いずれも9:40～16:00	講義・ワークショップ	講師 松本大学総合経営学部教授 白戸 洋氏
◆学社連携推進講座・学校支援ボランティア研修講座 「学校と地域の連携」	5月30日(金) 時間 9:40～16:00	講義:「学校支援ボランティアの意義と可能性」 「学校で活動するボランティアが知っておきたいこと」 演習:「子どもの力を引き出す関わり方」	講師 日本大学文理学部教授 佐藤 晴雄 氏 生涯学習推進センター 専門主事
◆学校支援コーディネータースキルアップ【2回継続講座】	① 6月5日(木) ② 10月21日(火) 時間 いずれも9:40～16:00	①講義:「これが大事! 学校支援のリスクマネジメント」 演習:「みんなが安心! ルールづくり」 情報交換 ②講義:「知っておきたい 地域の宝活用術」 実践事例発表・演習	全体講師 小平市学校支援コーディネーター連絡協議会会長 布 昭子 氏
◆家庭教育講座 「子どもがよろこぶ、楽しい運動遊び」	6月9日(月) 時間 9:40～16:00	講義:「スポーツにつながる楽しい運動遊び」 演習:「子どもがよろこぶ楽しい運動遊びとコミュニケーション」	講師 信州大学教育学部准教授 渡辺 敏明 氏
◆生涯学習推進講座 「生涯学習から地域をつなぐ」(公民館ステップアップ講座)	6月16日(月) 時間 9:40～16:00	講義:「人と人がつながる『希望への社会教育』」 演習:「人とつながるコミュニケーションのスキル」(予定)	講師 筑波大学人間系教育学域教授 手打 明敏 氏
◆家庭教育講座 「子育てと子どもの未来づくり～社会力・学力・生きる力～」	6月24日(火) 時間 9:40～16:00	講義:「社会力を育てる」 事例発表・情報交換	講師 筑波大学名誉教授 茨城県美浦村教育長 門脇 厚司 氏

※受講は無料です

※当センターにおいて開催します。

※詳細は、開催日の1ヶ月前に出される開催要項でご確認ください。生涯学習推進センターのホームページは <http://www.nagano-c.ed.jp/shogai/> です。

◆お問い合わせ◆

長野県生涯学習推進センター
〒399-0711
長野県塩尻市片丘南唐沢 6342-4
電話: 0263-53-8822 FAX: 0263-53-8825
E-mail: shogaigakushu@pref.nagano.lg.jp

あしがき

平成 26 年度最初のメールマガジンをお送りします。

1 年間編集を担当いたします。よろしくお願いいたします。

4 月になり、大分暖かい日が続くようになってきました。この春異動等で環境が大きく変わった方も多くいらっしゃると思います。

住まいや職場が変わったわけではないのですが、私の身の周りの変化といえば、10 年近く使っていたノートパソコンを買い換えたことです。

設定から、何の機能がどこにあるのか、果ては電源の切り方まで、分からないことだらけで、パソコンを開くたびに「はて？」とか「アレ？」とか「どーして？」とか、ひとりごとを連発する自分がいます。

慣れるまでの辛抱だと思って、気長に付き合っていきたいと思います。

(か)

[目次に
戻る](#)